

6. 普及推進委員会の活動報告

委員長：坊垣和明（建築研究所）

1. 普及推進委員会の目的と活動方針

1.1 推進委員会の目的

普及促進委員会は、各部会での調査研究活動の支援および成果の広報等を集約し効率的に実施することを目的とする。

1.2 活動内容と方法

（1）成果の普及・広報

各部会における成果を普及促進するためのシンポジウムや講演会の開催、メディアへの広報ならびにその支援を行う。

（2）調査・研究活動の支援

例えば、複数の部会にまたがる調査・研究活動を統括する、あるいは民間等を含む複数の機関による共同研究の支援を行う、等の活動が考えられる。

（3）調査や研究および成果の普及のための組織の設立・運営

産学官の連携による共同研究等の効果的な推進のための組織として、コンソーシアムの設立を想定し、その設置ならびに運営を行う。また、将来的（研究期間終了後）にはコンソーシアムが成果の普及を担うことになると考えられる。

2. 活動の概要

（1）シンポジウムの開催

活動の中間報告を中心とするシンポジウムを開催した。

第1回 知的生産性シンポジウム 2008年1月28日（月） 建築会館ホール

内容：基調講演（村上委員長）、特別講演（妹尾委員）、各部会活動状況報告（各部会主査）、特別報告（事例紹介）。約150名が参加。

（2）コンソーシアムの設立準備

産学官の合同による知的生産性コンソーシアム（仮称、民間事業者等により構成される技術開発会議と学識者を中心とする研究委員会で構成）の設立準備を進め、民間企業の参加を募集中。

3. 今後の活動

（1）シンポジウムの開催

年度中間の時期に先進事例や一部の成果報告を行うシンポジウム（第2回）と活動状況報告のためのシンポジウム（第3回）を開催する（予定）。

第2回 2008年8月6日（水） 新宿住友ホール

第3回 2009年1月頃

2009年度も同様の開催を企画する予定。

（2）部会活動の支援

海外事例調査等、各部会の活動を支援する業務の企画、実施を検討する。

（3）コンソーシアムの設立・運営

新年度早々の設立を目指して準備を進め、早い時期に運営を軌道に乗せる。